

研究授業

日 時 : 2019年10月15日 (火) 3 時間目
場 所 : 北海道釧路工業高等学校
対象クラス : 1 学年機械科 A 組 (男子●名、女子●名)
授 業 者 : 北海道釧路工業高等学校教諭 馬場脩平

目的

研究授業を通して

- ① 授業の事実から、教師が学べることを**共有**しよう
- ② 授業改善に向けた取組を互いに**提言**し合おう

流れ

10:05~10:40

事前説明

- ・ 授業内容について
- ・ 参観 & 記録方法について

10:45~11:40

授業参観



11:50~12:40

研究協議

- ・ 授業者 & 学習者の声
- ・ グループ協議
- ・ 協議内容の発表 & 共有
- ・ 講評



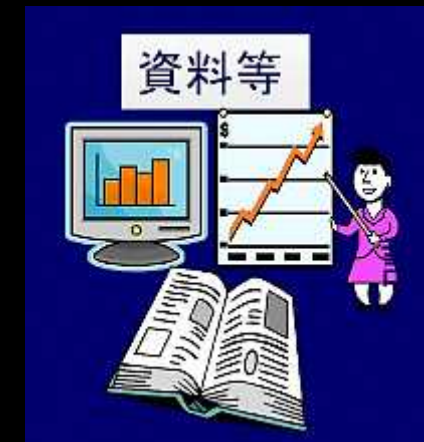
授業 内容

問い

中国では、なぜ大きな経済格差が生じているのだろうか

追究

- ・ 6種類の資料を分析
- ・ 分析結果を共有



解



本授業で生徒の学びはなぜ深まり、 生徒の学びはなぜ停滞したのだろうか

学びが深まった場面



授業者の手立ての
有効だった内容と
その要因は何だ！

学びを停滞させた場面



授業者の手立ての
不足していた内容と
その要因は何だ！

情報収集
と
記録

いつ

授業中→観察
授業後→生徒へインタビュー
協議→授業者・学習者の声



何に

黄ふせん
学びが深まった
場面

青ふせん
学びが停滞した
場面



- 時刻
- 授業中に起こった**事実**
- **生徒を主語**とした表現

何を

参観 の掟

教室の後方 NG
横or前から OK



理由：生徒の活動・表情を見てほしい

では、教室に行きましょう！

授業者 & 学習者の声

授業者

北海道釧路工業高等学校

教諭 馬場 脩平



学習者

北海道釧路工業高等学校

1年機械科A組

●● ●● さん
●● ●● さん

協議

黄ふせん
学びが深まった場面

● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

青ふせん
学びが停滞した場面

● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

拡大授業案

7 本時①の指導（6／8時間目）

(1) 本時①の目標
印象に残った一文を選んだ理由について、意見を述べながら読むことができる。

(2) 本時①の展開

学習活動	☆指導上の留意点 ◆評価規準（評価方法）
1. 前時までの学習を取り返し、本時の学習課題を確かめる。	☆これまでの学習を取り返ることができるよう、学習計画表を掲示しておく。
「なでしこレオレオでん」をひらくために、一文を選んだ理由を書く。	
2. 共通学習材「アレクサンダーとぜんまいねずみ」を読んで、前時に選んだ印象に残った一文の理由をワザワザ書き、交流する。	☆指導のポイント③ 交流のイメージを示します。 ☆交流のイメージを全体で共有するために、前時に理由を見付けられぬよう選んだ児童を取り上げ、児童同士でどのように交流したらよいか交流のやり方を示す。 ☆早く書き終わった児童や理由が見付からない児童は、前時に聴いた「心にのこったマーク」【ハート型の付箋】を参考にしながら、他児童と互いに交流する。そうすることによって、全員が理由を挙げることに気付くことができる。
3. 書いた理由を全体で発表し合い、理由の書き方を整理する。	☆児童から出てきた理由を、前時までに蓄積しておいた以下の観点で整理し、様々な理由があることに気付けるようにする。 ① 前時の学習から好きな理由を書いている。 ② 前時よりも好きな理由を書いている。 ③ 前時よりも好きな理由を書いている。 ④ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑤ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑥ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑦ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑧ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑨ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑩ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑪ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑫ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑬ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑭ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑮ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑯ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑰ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑱ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑲ 前時よりも好きな理由を書いている。 ⑳ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉑ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉒ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉓ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉔ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉕ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉖ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉗ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉘ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉙ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉚ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉛ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉜ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉝ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉞ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㉟ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊱ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊲ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊳ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊴ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊵ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊶ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊷ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊸ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊹ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊺ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊻ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊼ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊽ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊾ 前時よりも好きな理由を書いている。 ㊿ 前時よりも好きな理由を書いている。
4. 共通学習材で学んだ理由の書き方を参考にしながら、自分の気に入った作品から、前時に選んだ一文の理由をワザワザ書き、交流する。	☆書き終わったら声に出しながら読むことのおもしろいところがないかを考えさせる。 ☆共通学習材「アレクサンダーとぜんまいねずみ」のやり方で一文を選んだ理由の交流を行う。
5. 本時の学習内容を確かめる。	☆前時に選んだ一文の理由について、登場人物の言動や心情を捉えながら読み進めることができる。

協議

問い

本授業で生徒の学びはなぜ深まり、
生徒の学びはなぜ停滞したのだろうか

学びが深まった場面
→授業者の手立ての有効だった内容とその要因は何か

学びを停滞させた場面
→授業者の手立ての不足していた内容とその要因は何か

両者が混在している場面
※協議を深めたいところ

7 本時の指導（6/8時間目）

(1) 本時の目標

印象に残った一文を選んだ理由について、登場人物の言動を手探かりにはっきりさせ、想像を広げながら読むことができる。
(読むことウ)

(2) 本時の展開

学習活動	学習場上の留意点 ◆評価視点 (評価方法)
1. 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確かめる。	☆これまでの学習を振り返ることができるよう、学習計画表を提示しておく。
「なでしこレオレオニでん」をひらくために、一文をえらんだ理由を書こう。	
指導のポイント② 交流のイメージを示します。	
2. 共通学習材「アレクサンダーとぜんまいおずみ」を読んだ後、印象に残った一文の理由を説明し、それを共有する。	☆交流のイメージを全体で共有するために、前時に理由を見つけておいた児童を取り上げ、児童同士でどのように交流したらよいか交流の方法を示す。 ☆早く書き終わった児童や理由が思いつかない児童は、前時に貼った「心にのこったよマーク」（ハートの付箋）を参考にしながら、一人一人が心にのこった一文を選び、理由を説明し、それを共有する。交流の仕方としては、一人一人が心にのこった一文を選び、理由を説明し、それを共有する。交流の相手と話し、自分に選んだ一文のページを開いて読み、理由を聞いて話し合う。
3. 書いた理由を全体で発表し合う。	☆児童から出てきた理由を、前時までに蓄積しておいた以下の観点から整理し、様々な理由があることに気付けるようにする。 ・自分の言動が好きな理由を書いている。（ウ） ・自分の言動が好きな理由を書いている。（ア既習） ・自分の言動が好きな理由を書いている。（イ既習） ・自分の言動が好きな理由を書いている。（オ既習） ・自分の言動が好きな理由を書いている。（カ既習）
4. 共通学習材で学んだ理由の書き方を参考にしながら、自分の印象に残った一文の理由を説明し、それを共有する。	☆書き終わったら声に出しながら読むこととおかしいところがないかを参考にしながら、自分の印象に残った一文の理由を説明し、それを共有する。交流の方法として、一人一人が心にのこった一文を選び、理由を説明し、それを共有する。交流の相手と話し、自分に選んだ一文のページを開いて読み、理由を聞いて話し合う。
5. 本時の学習内容を振り返る。	☆本時の学習内容を振り返ることができるように、学習計画表を提示しておく。

省察

本日みなさんで取り組んだ研究授業

- ① 授業の事実から、教師が学べることを**共有**する
- ② 授業改善に向けた取組を互いに**提言**し合う



省察の視点

自分自身が明日から取り組むべき
授業の改善点は何だろうか

ありがとうございました！ 最後にも願いがあります。

Thank You カード

学習者の1年生機械科A組の生徒へ

授業者の馬場先生に

お褒め

ねぎらい

ハートフルなメッセージを
生徒と先生へプレゼント！

感謝

暖かみ

助言

神戸大学附属中等教育学校
教諭 高木 優